



©朝日新聞社 2005年
発行所 名古屋市中区栄1丁目
3番3号 〒460-8488
朝日新聞名古屋本社
電話 052-231-8131

津波で消えた 笑顔戻したい

愛知万博(愛・地球博)の「愛・地球広場」に世界の笑顔を集めるシンボル企画「メリー・イン・エキスポ」の撮影が大詰めだ。昨夏から20カ国で1万人の笑顔を集めてきた水谷孝次さん(53)が12日、最後の撮影地インドとタイに向けて旅立った。「タイはほほえみの国。津波による大きな被害で消えた笑顔を取り戻してもらいたい」と最後の訪問地に選んだ。(六郷孝也)

水谷さんは広告のアーティストだが、阪神大震災から復興を進める神戸や、「9・11」のテロから1年たったニューヨークの街頭で撮影。メッセージを添えた笑顔のポスターなどに仕上げ、その都市で展示する



「メリープロジェクト」を展開してきた。万博では、広場の野外ステージにある幅20メートル、高さ8メートルの大画面エキスポビジョンにこれまで撮った笑顔を4人ずつ映す。1日で約1100人を登場させる。会場で水

谷さんが週末に撮った笑顔も映す予定だ。

9日にオーストラリアから帰国した水谷さんは

10日、万博会場を訪れ、

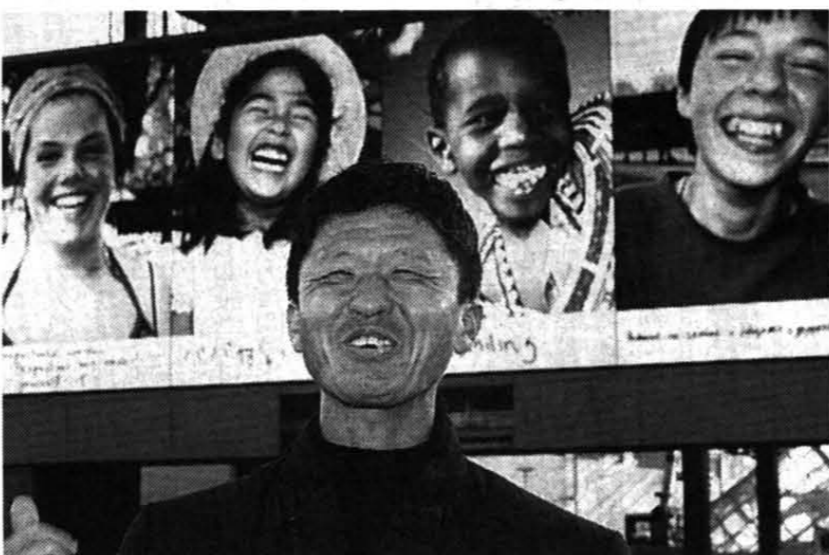
映像の質や、撮影の時に

録音したメッセージの音

声などを点検。大画面の

笑顔を見ながらスタッフ

水谷孝次さん 最後の撮影にタイへ



らに「貧しい国ほど笑顔がいい。でもキューバの笑いは画一化していた」

など印象を話した。

タイでは被災地は避け、北部の山間地などで

大画面に映し出された世界の笑顔の前に話す水谷孝次さん。愛知県長久手町で

撮るつもりだ。「悲しみが強すぎてつらい人から無理に笑いを撮ってはいけない」。立ち直りつつある人たちの元気を呼び戻す写真を目指すという。

愛・地球広場では観客がカメラ付き携帯電話で送った写真やメッセージも映し出され、登場した自分や家族の写真を掲載した朝日新聞発行の「マイペーパー」をもらえる企画もある。水谷さんは「愛・地球広場を世界に笑顔を取り戻す出発点にしたい」と話している。